

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市勧業館（みやこめッセ）の運営について

当館は、京都市民の生活文化の向上と伝統産業をはじめとする京都の産業の振興に寄与することを目的に平成8年にオープンいたしました。現在では、年間約100万人が来場する施設です。

施設の主な取組（概要）

【展示場・会議室などの貸出】

大規模な展示場を備えた京都府下最大級のイベント会場であり、主催者のニーズに応じた、企画運営のサポート等にも取り組んでいます。

【伝統産業ミュージアムの運営】

京都が誇る伝統産業の振興拠点として、74品目の常設展示、工芸品の販売、職人実演など、広く伝統産業の活性化につながる取組を実施しています。



京都市勧業館の収入と支出

いずれも概数
千円単位で四捨五入

総額 7.2 億円

<支出>

利用1件当たりの運営経費 1,943千円 (A)

運営費 その他 1,097千円	社員 人件費 496千円	京都市への 納入金※ 350千円 (維持管理費 217千円を含む)
-----------------------	--------------------	---

<収入>

利用1件当たりの収入 1,943千円 (B)

その他の収入 352千円 (18%)	施設利用料金 1,591千円 (82%)
--------------------------	----------------------------

施設の運営費は、利用者の負担（施設使用料等）と公費負担（市民の皆様にご納めいただく税金）などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状態に応じた収支改善の取組（維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等）を進めてまいります。